
EXFO 社製

FIP-435B (Wireless)

クイックガイド

【 第 5 版 】



-  本製品の使用前に必ず取扱説明書をお読み下さい。
 -  本取扱説明書は英文取扱説明書の一部邦文訳ですが、全てにおいて英文取扱説明書の補助手段としてご使用ください。
 -  危険ですので FIP 本体のコンタポートを直接のぞかないで下さい。レーザー光が発信されますので目に損傷を与える恐れがあります。
-

目次

1. ソフトウェア	2
1.1. パソコン用ソフトウェアのダウンロードとインストール	2
1.2. スマートフォン&タブレットのソフトウェアのダウンロードとインストール	8
2. FIP435B(Wireless)本体	9
2.1. FIP435B(Wireless)プローブ概要	9
3. 操作手順	11
3.1. 本体とパソコン/スマートフォン/タブレットの接続手順	11
3.2. SM/MM ファイバ測定(単芯)	15
3.3. MPO/MTP ファイバ測定(多芯)	22
4. その他の機能	34
4.1. オートセーブ機能	34
4.2. ファイル名の設定とレポート情報の設定	36
4.3. 合否判定基準の選択/設定	38
5. 仕様	40

1. ソフトウェア

FIP-435B(Wireless)は、Wi-Fi(無線)接続で光コネクタ端面の汚れを確認する端面検査プローブです。Wi-Fiを受信する機器^{*1}で使用可能です。また、USB ケーブルを使用することで USB ポートが実装されている機器との有線接続も可能です。FIP-435B(Wireless)を使用するためにはソフトウェアのインストールが必要となります。

*1 : Wi-Fi を受信する機器(例)

- PC
- スマートフォン&タブレット(iOS / Android)

1.1. パソコン用ソフトウェアのダウンロードとインストール

パソコンで FIP-435B(Wireless)を使用するためには、ConnectorMax2(最新バージョン)のソフトウェアが必要です。ConnectorMax2 のダウンロード方法とインストール手順を以下に示します。

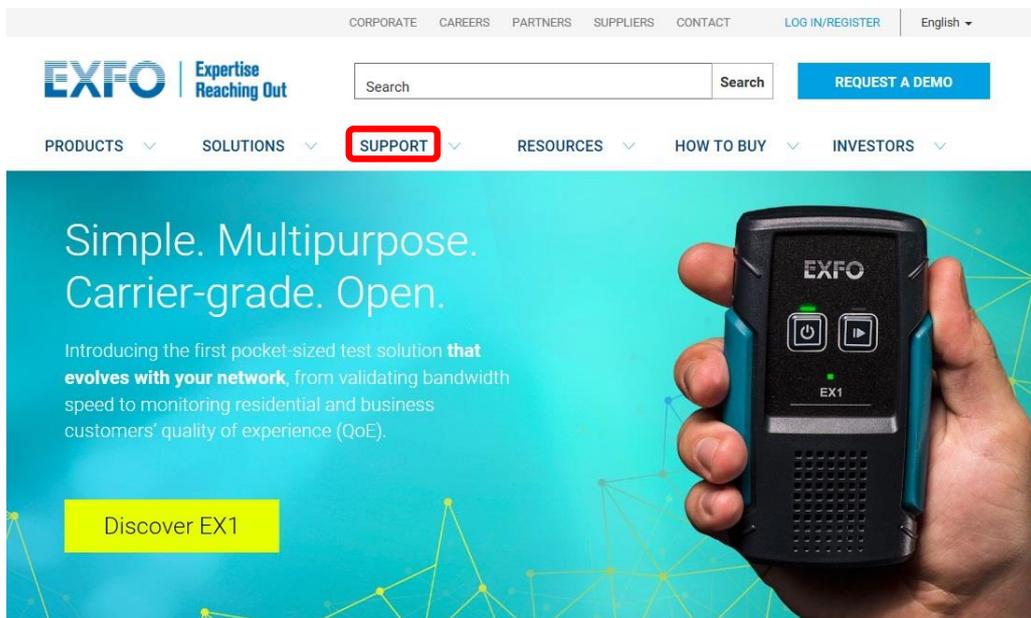
1.1.1. ダウンロード

PC で使用する場合には、下記の手順でソフトウェアのダウンロードを実施してください

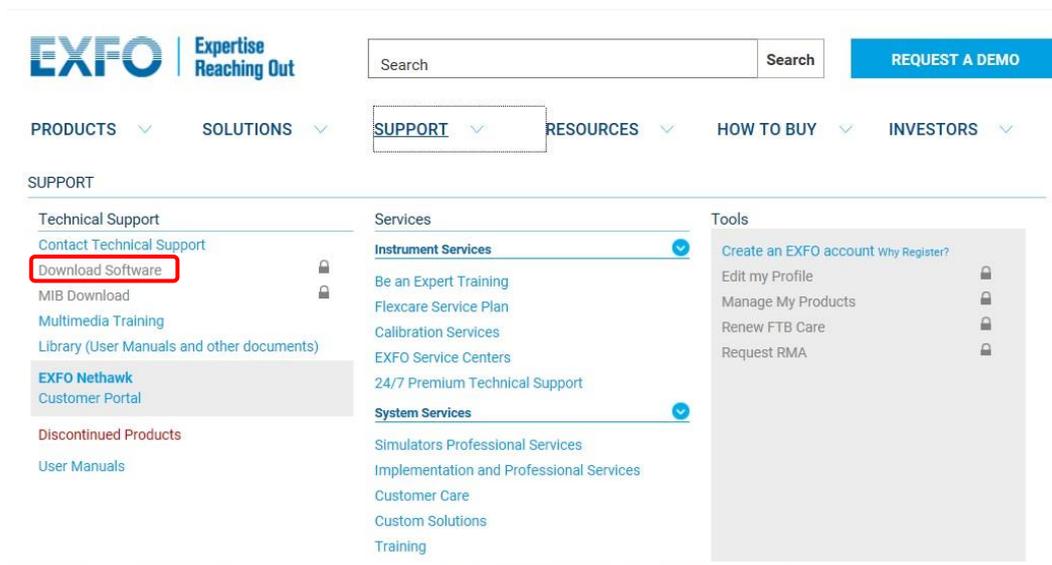
(1) 下記、EXFO 社のホームページにアクセスします。

<http://www.exfo.com/>

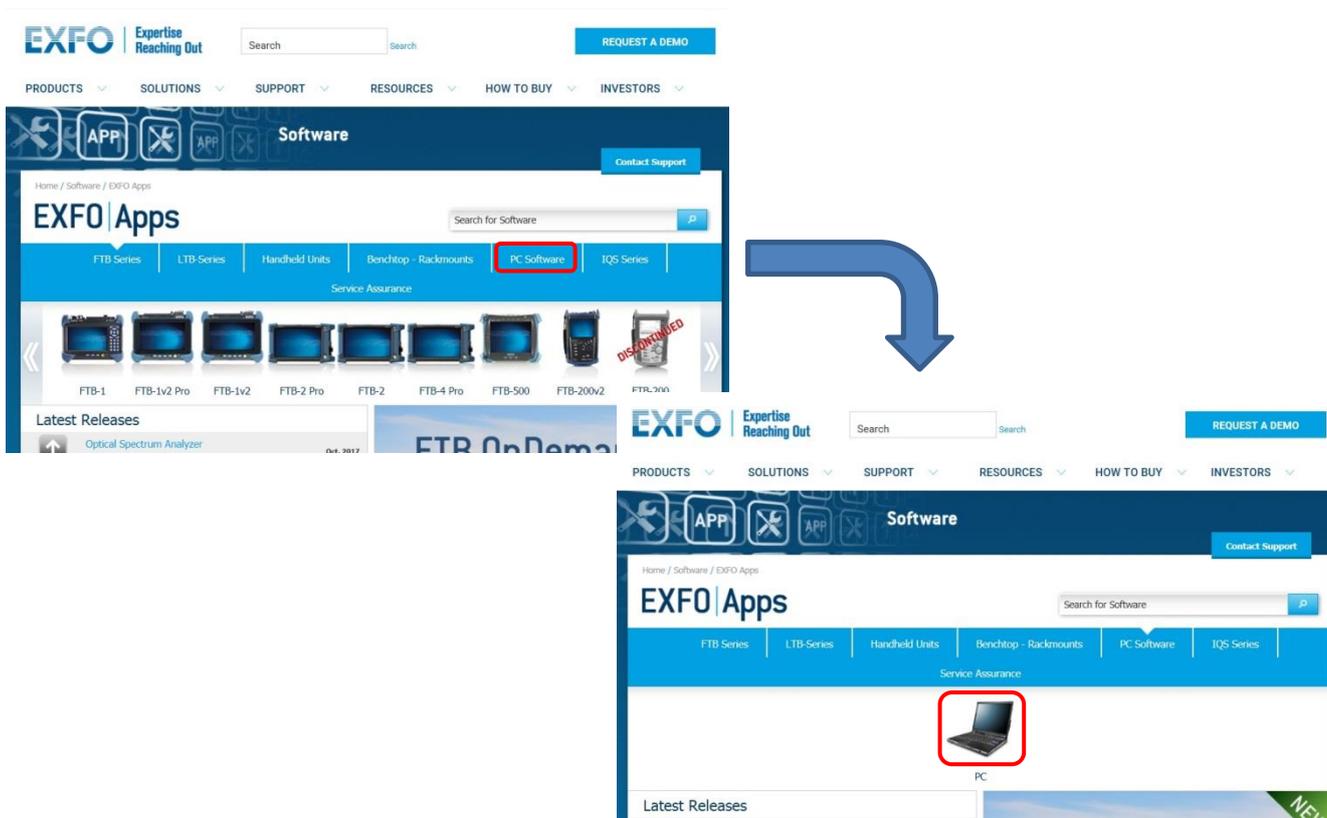
(2) EXFO 社のサイト表示後、『**SUPPORT**』をクリックします。(画面は異なる場合があります。)



(3) 『Download Software』をクリックします。

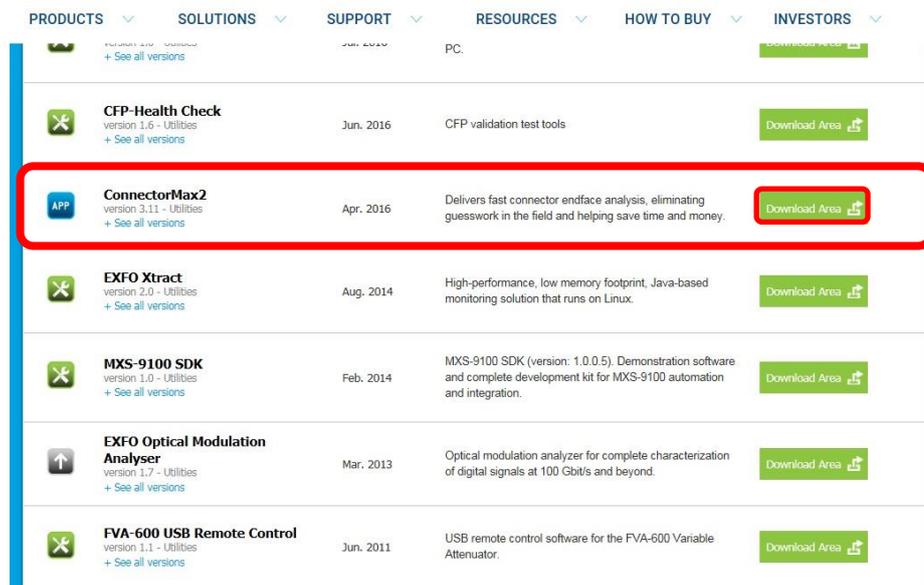


(4) 『PC Software』 → 『PC(画像)』をクリックします。



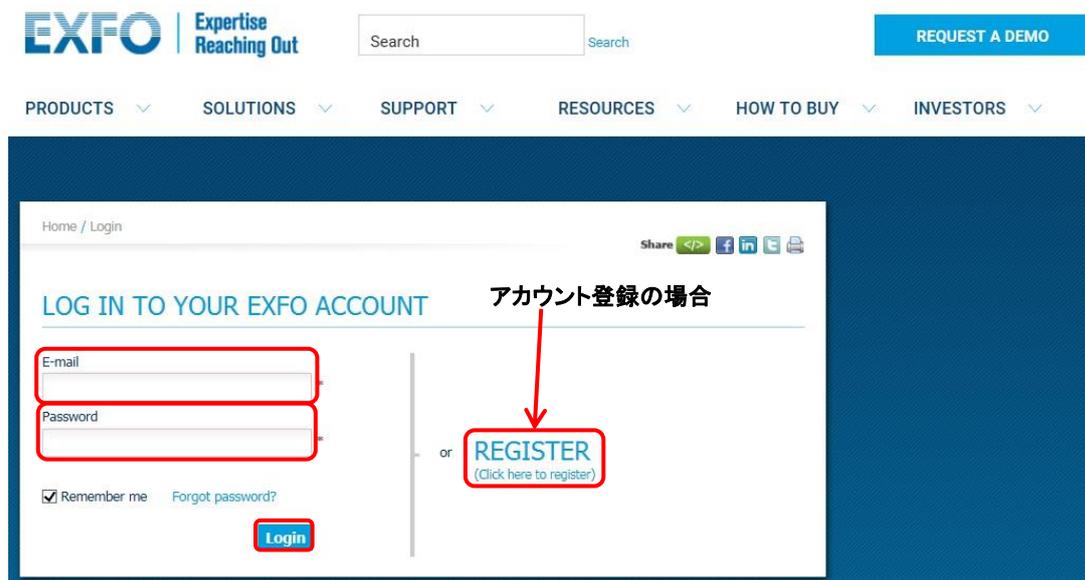
(5) 『ConnectorMax2』を検索して『Download Area』をクリックします。

※ PC で使用可能なソフトウェアが全て表示されます。



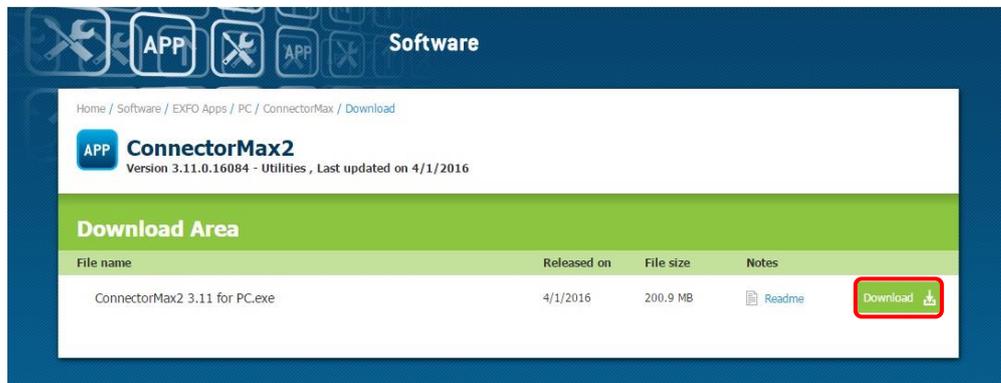
(6) EXFO のログインアカウントを入力し、『Login』をクリックします。EXFO のアカウントに登録されていない場合には、『REGISTER』から登録してアカウントを作成します。

※ アカウント登録は無料です。画面の指示に従って、メールアドレス等を入力します。



(7) 「ConnectorMax2」のダウンロード画面が表示されます。『**Download**』をクリックします。

※ 『**Readme**』をクリックするとリリースノートを確認することができます。



(8) ダウンロードが開始されます。ダウンロード速度、ファイル容量等により、時間が掛かる場合があります。ダウンロード完了後、ソフトウェアのアップデート&インストールを行います。

1.1.2. インストール

PC で使用する場合は、1.2.1 項でダウンロードしたソフトウェアをインストールする必要があります。スマートフォンで使用する場合は、ダウンロードとインストールが同時に行われます。インストール手順を以下に示します。

(1) ソフトウェアのダウンロード完了後、圧縮ファイルの為、ファイルを解凍します。

<ダウンロードファイル>

名前 ▲	更新日時	種類	サイズ
 ConnectorMax2 3.11 for PC.exe	2016/05/09 14:16	アプリケーション	200,909 KB

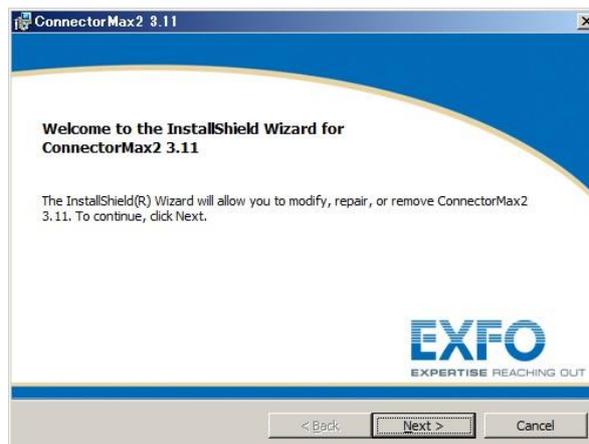


<解凍ファイル>

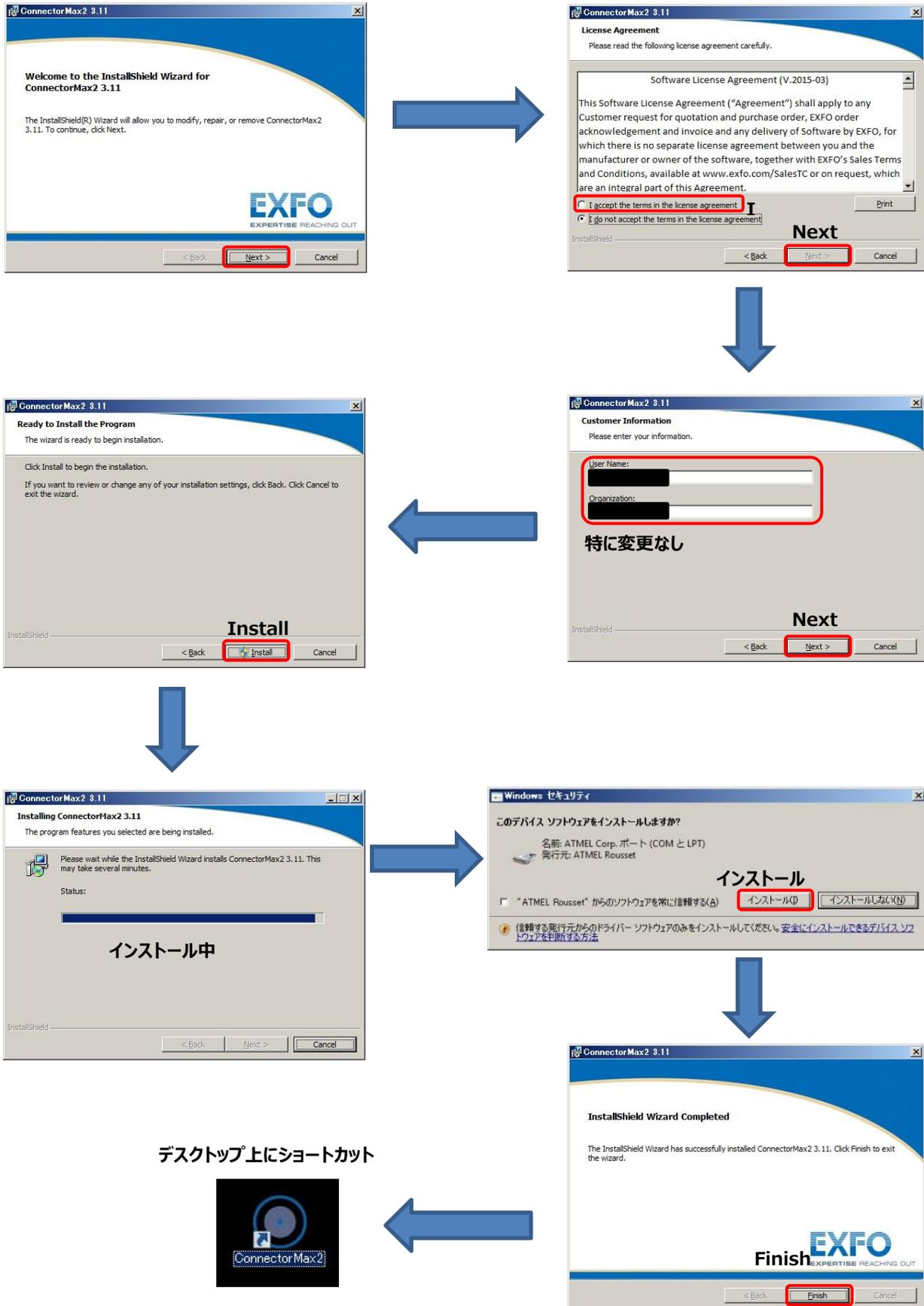
名前 ▲	更新日時	種類	サイズ
 32 bits	2016/05/09 17:50	ファイル フォルダー	
 64 bits	2016/05/09 17:50	ファイル フォルダー	

(2) PC の仕様にあったフォルダー内の「EXFO ConnectorMax2 3.11.msi」を実行します。

名前 ▲	更新日時	種類	サイズ
 Data1.cab	2016/03/24 9:53	CAB ファイル	97,685 KB
 EXFO ConnectorMax2 3.11.msi	2016/03/24 9:53	Windows インストーラー パッケージ	3,077 KB



(3) 画面の指示に従ってインストールを実行します。



1.2. スマートフォン&タブレットのソフトウェアのダウンロードとインストール

iOS の場合は **APP Store**、Android の場合は、**Google Play Store** から ConnectorMax2 Mobile(CMax2)のソフトウェアをダウンロード&インストールします。検索画面から「EXFO」、「ConnectorMax2」などのキーワードで検索できます。

※ ConnectorMax2 Mobile は、**無料**です。



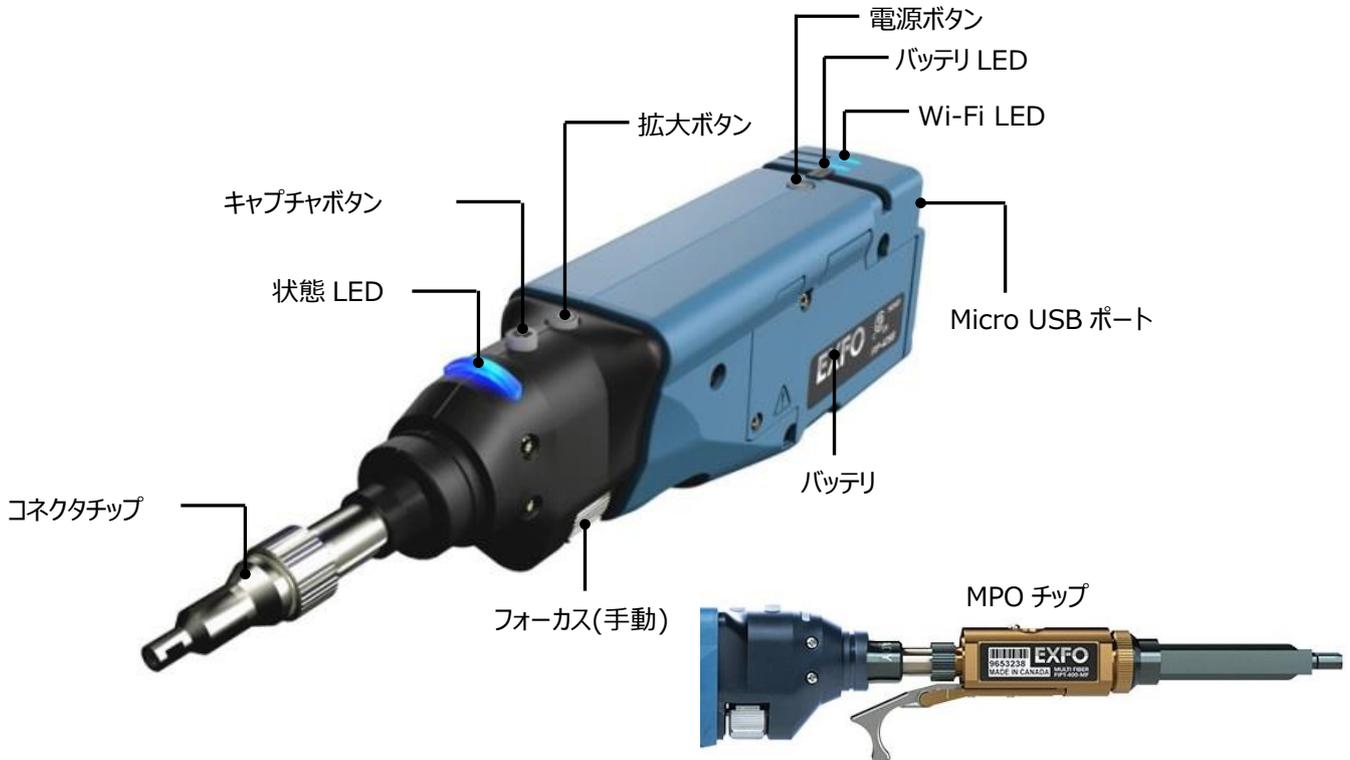
(例) App Store 画面



2. FIP435B(Wireless)本体

FIP-435B 本体の機能を以下に示します。

2.1. FIP435B(Wireless)プローブ概要



状態 LED

点灯状態	状態	備考
青点滅	処理実行中	
赤点滅	プローブ問題発生時、オートフォーカスのタイムアウト、分析エラー	
青点灯	スタンバイ中	
赤点灯	分析結果が不合格	
緑点灯	分析結果が合格	

バッテリー LED

点灯状態	状態	備考
青点滅	充電中	USB 接続時
青点灯	充電完了	USB 接続時
赤点灯	充電エラー	
黄点滅	バッテリー温度異常のため、充電ができていない状態	USB 接続時
黄	充電が少ない状態	USB 未接続時
消灯	充電がない状態	USB 未接続時

Wi-Fi LED

点灯状態	状態	備考
青点灯	スタンバイ中もしくは、Wi-Fi 出力中	正常状態
赤点灯	Wi-Fi 出力エラー	
消灯	電源 OFF 時もしくは、プローブ初期化中	

3. 操作手順

3.1. 本体とパソコン/スマートフォン/タブレットの接続手順

3.1.1. 本体とパソコンの接続

- (1) FIP-435B(Wireless)プローブの電源を ON にします。状態 LED と Wi-Fi LED が青点灯します。(充電している場合は、バッテリー LED も点灯します。)

※ 電源ボタンを 2~3 秒間押し続けると ON になります。



- (2) PCにインストールしたソフトウェア(ConnectorMax2)を起動します。PCにソフトウェアをインストール後、デスクトップ上にショートカットが作成されます。ショートカットから起動させます。(ショートカットが存在しない場合は、『スタート』→『すべてのプログラム』→『EXFO』→『ConnectorMax2』から起動させます。)

デスクトップ上のショートカットアイコン



(3) FIPとパソコンの接続方法は、Wi-Fi 接続(無線)とUSB 接続(有線)の2通りがあります。

◆ Wi-Fi 接続(無線)

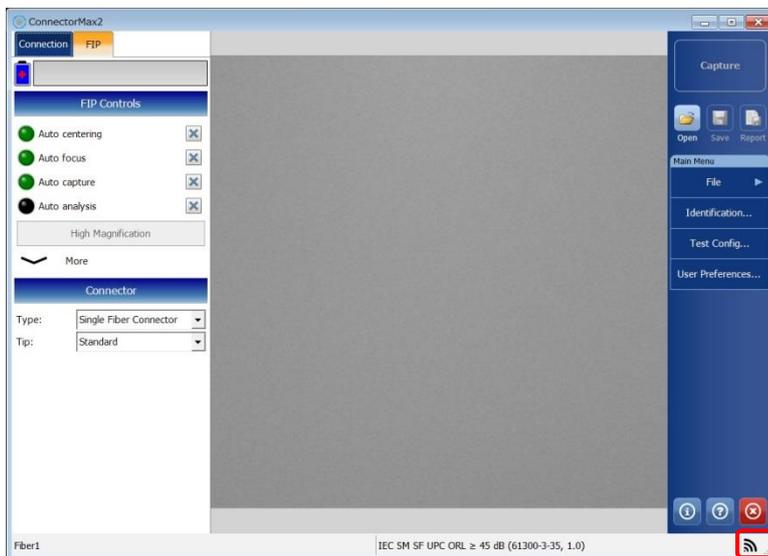
- A) ConnectorMax2 画面左側に Wi-Fi 出力中の FIP が表示されます。**接続する FIP** を選択します。
- B) 『**Connect**』をクリックします。
- C) FIP Firmware Update のメッセージが表示された場合は、『**OK**』をクリックします。
Firmware Update 中は、FIP 本体の電源を OFF にしないでください。
- D) 自動的に Wi-Fi 経由で接続が完了します。



< Wi-Fi 検出中 >



接続完了 : メイン画面



Firmware Update メッセージ



Wi-Fi 接続時は
と表示されます。

◆ USB 接続(有線)

A) 付属の USB-Micro USB ケーブルを使用して、FIP 本体後ろにある Micro-USB ポートとパソコンを接続します。



B) ConnectorMax2 画面左側に USB 接続中の FIP が表示されます。**接続する FIP** を選択します。

C) 『**Connect**』をクリックします。

D) FIP Firmware Update のメッセージが表示された場合は、『**OK**』をクリックします。

Firmware Update 中は、FIP 本体の電源は、OFF にしないでください。また、PC との接続は切り離さないでください。

E) 自動的に USB 経由で接続が完了します。

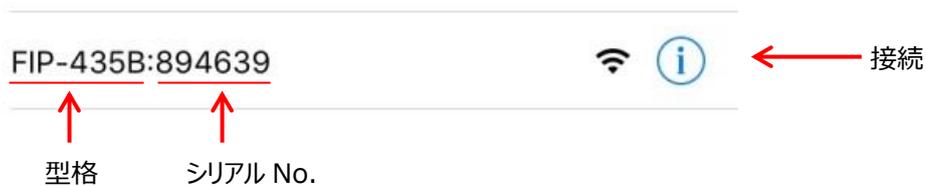
3.1.2. 本体とスマートフォン/タブレットの接続

- (1) FIP-435B(Wireless)プローブの電源を ON にします。状態 LED と Wi-Fi LED が青点灯します。(充電している場合は、バッテリー LED も点灯します。)

※ 電源ボタンを 2~3 秒間押し続けると ON になります。



- (2) スマートフォンで FIP から出力されている Wi-Fi に接続します。



- (3) CMax2Mobile アプリケーションを起動します。



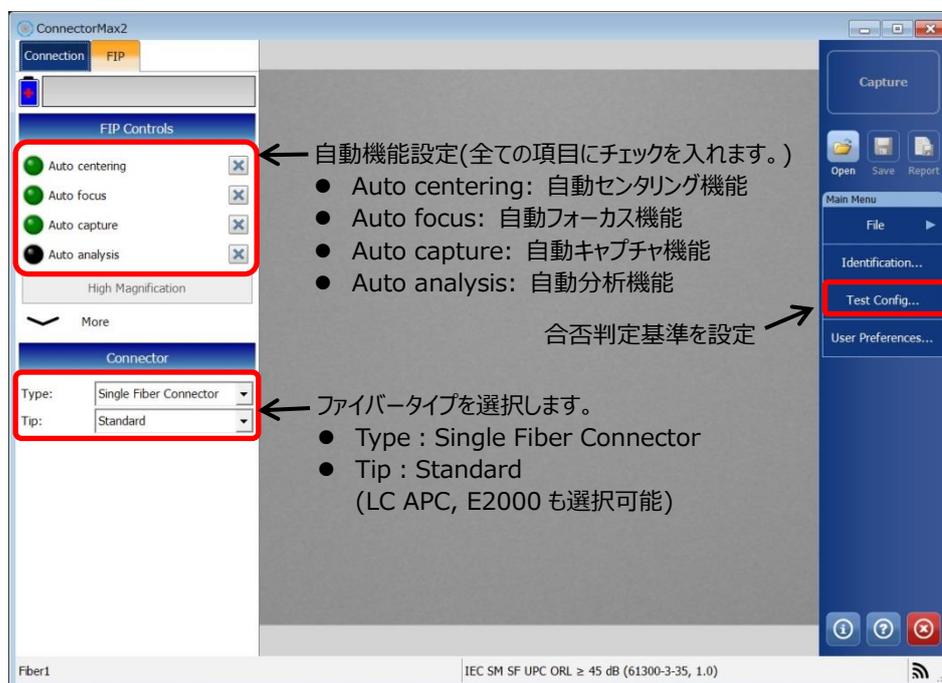
3.2. SM/MM ファイバ測定(単芯)

3.2.1. パソコン

(1) FIPプローブと接続後、ConnectorMax2ソフトウェアの設定を行います。

- FIP Controls の全ての自動機能にチェックを入れます。(手動操作する場合は対象の項目のチェックを外します。)
- Connector で検査ファイバの Type を『Single Fiber Connector』を選択し、Tip を『Standard』を選択します。
Tip は、『LC APC』『E2000』も選択可能です。
- Main Menu の Test Config で合否判定基準を設定します。(ファイバタイプを変更すると自動的に標準の設定に変更されます。)

※ APC 研磨ファイバ(E2000 APCも含む)の場合は、TEST Config で APC を選択

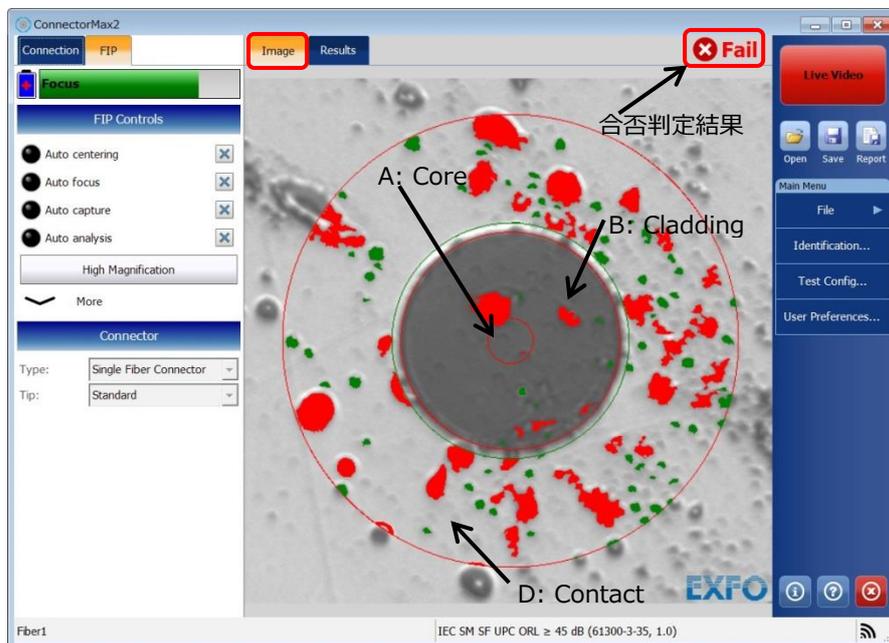


(2) プローブにファイバを接続して分析結果を待ちます。(全て自動で行われます。)

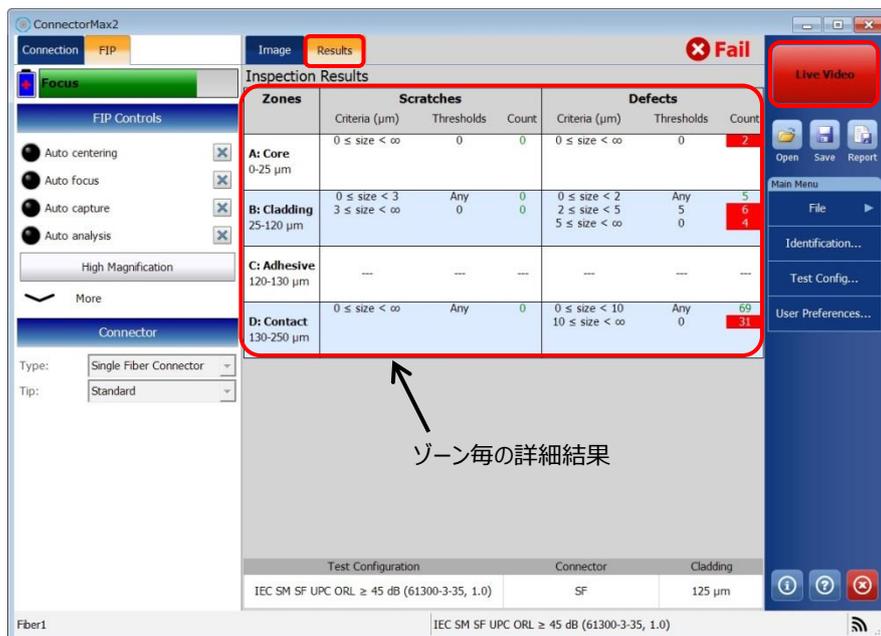


(3) 結果は以下のように表示されます。

<Image タブ>



<Results タブ>



再試験する場合は、『Live Video』をクリック

<FIP 本体表示> : FIP 本体でも合否判定結果を確認できます。

緑点灯 : 合格(Pass)



赤点灯 : 不合格(Fail)



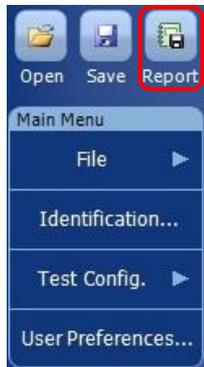
青点灯 : 待機中



(4) 必要に応じて、結果を保存します。レポート保存とデータ保存の2通りの方法で保存可能です。

- レポート保存：PDF、XML 保存し、パソコン上で表示可能。
- データ保存：cmax2 形式保存し、ConnectorMax2 ソフトウェア上でのみ表示可能。

<PDF、XML 保存>



- ファイル名の入力
- ファイル形式の選択

『保存』

<PDF レポート>

ConnectorMax2 Analysis Report Fail

General Information
 Element: Part1.cmax2 Inspected date: 2017/12/04 15:58:18
 Analysis version: 1.3.1.0 Inspected date: 2017/12/04 15:58:18
 Job ID: Customer: Frame: Comments:

Locations	A	B	Mth.	Value
Mount			FIP-435B	
Substr. LSP			Serial number	040210
			Pressure control	3.4 ± 0.28

Identifiers

Case ID	Filter ID	Location A	Location B	Connector ID
	Filter1			

Test Parameters

Condition	Cladding barrier	Cladding barrier	Cladding barrier
ICC 2M (F) LPC OPL 4-45-49 (F) 3D-3.0, 1.0 (Standard)	Single fiber	Singapore	125 µm
Connector type	Singapore	Response type	Ultra-extended physical contact
Filter type	Steel	Analyse mode	Outside plant

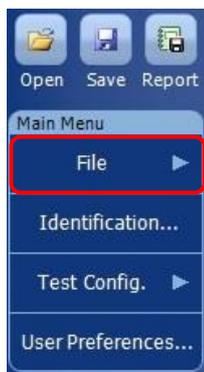
Images

Results

Zone	Zone Diameter	Criteria	Scratches	Count	Criteria	Defects	Count
A Core	10-10	0.1 µm ± 1	None	0	0.1 µm ± 1	None	0
B Cladding	20-125	0.1 µm ± 1	Any	0	0.1 µm ± 1	Any	0
C Interface	125-100	0.1 µm ± 1	Any	0	0.1 µm ± 1	Any	0
D Contact	125-200	0.1 µm ± 1	Any	0	0.1 µm ± 1	Any	0

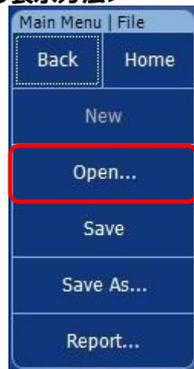
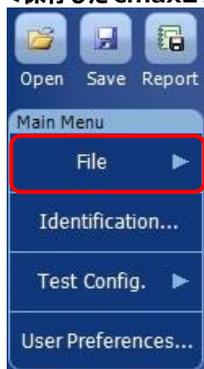
EXFO Signature _____ Date: 2017/12/04 Page 1 of 1

<cmax2 形式保存>



ファイル名を入力して保存

<保存した cmax2 形式ファイルの表示方法>



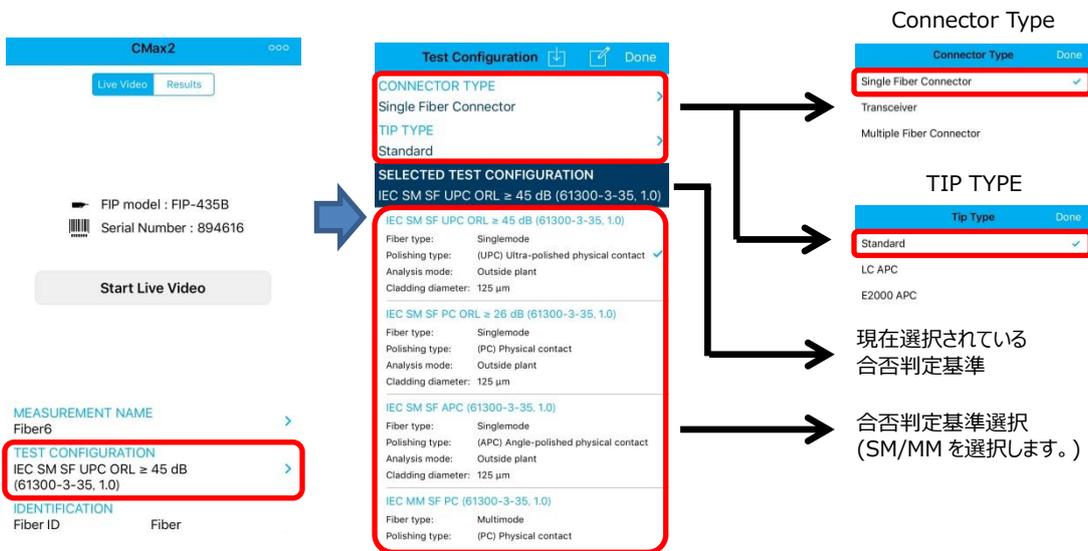
ファイル選択してロード

3.2.2. スマートフォン&タブレット端末

(1) FIPとスマートフォン&タブレットが Wi-Fi 接続完了後、TEST CONFIGURATION を以下のように設定します。

- CONNECTOR TYPE = Single Fiber Connector
- TIP TYPE = Standard (LC APC、E2000 APC の選択可能)
- SELECTED TEST CONIGURATION = 合否判定基準を選択

※ APC 研磨ファイバ(E2000 APC も含む)の場合は、TEST CONFIGURATION で APC を選択

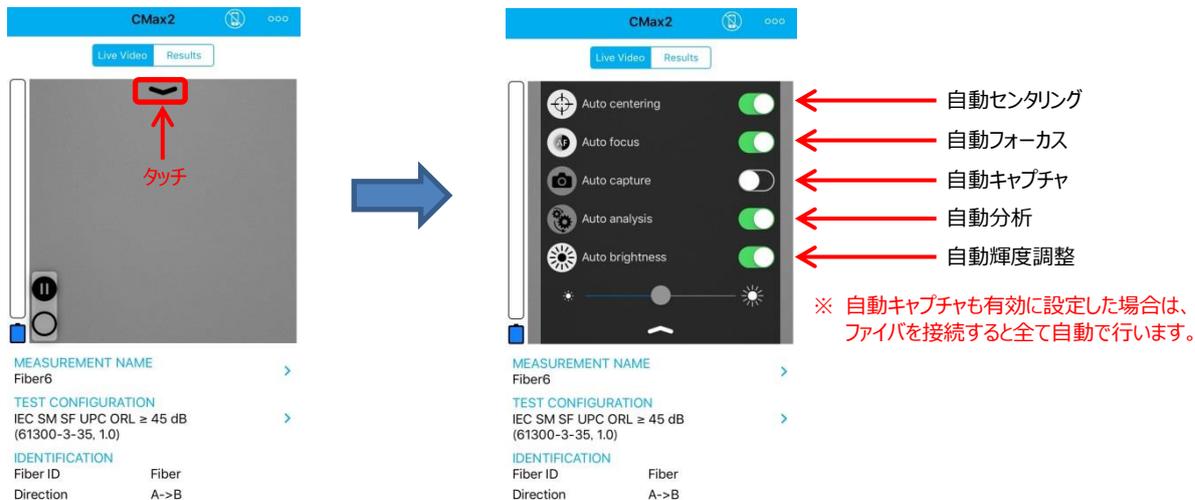


(2) 測定画面が表示されない場合は、『Start Live Video』をタッチします。



< 初期設定値 >

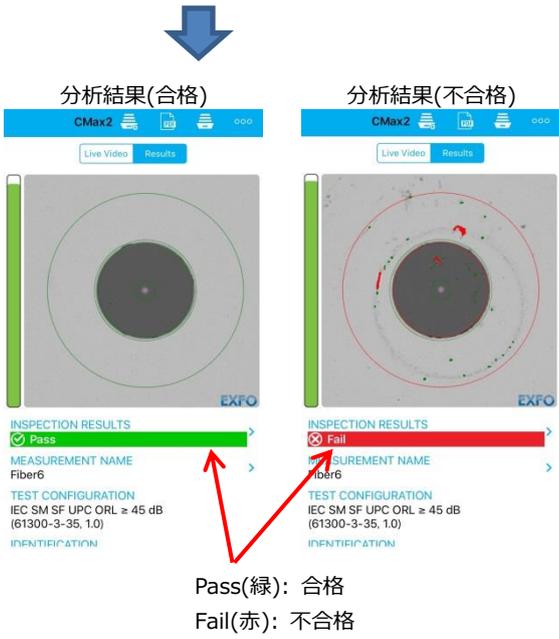
初期状態は、以下の通りです。自動キャプチャ以外は、有効に設定してあります。



- (3) 測定を開始します。測定するファイバに合うチップをFIPに接続して、光ファイバとFIPを接続します。キャプチャ操作のみを手動で行います。以下の手順で行います。

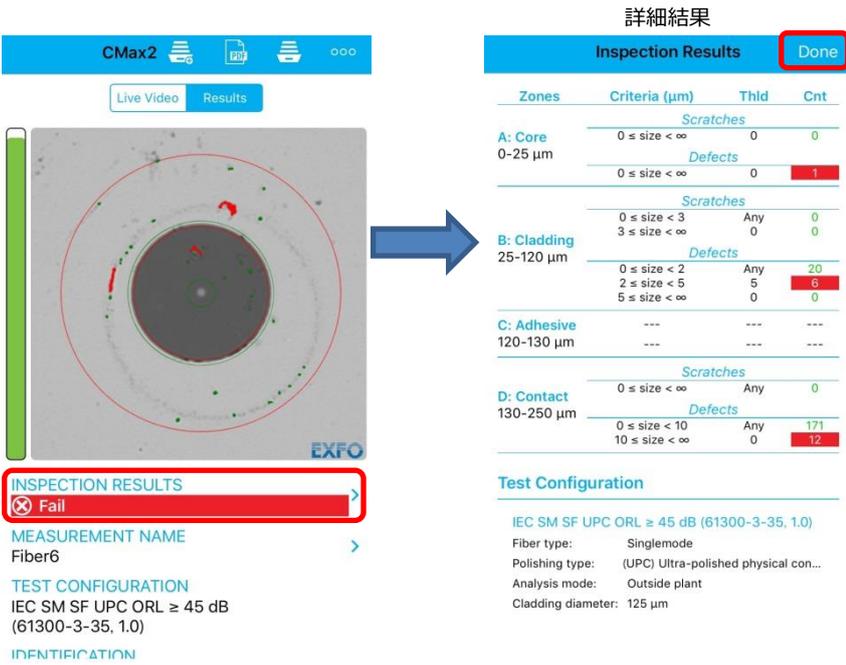
※ 自動キャプチャ、オートセーブは、設定が必要です。





※ 結果画面詳細

『INSPECTION RESULT』をクリックするとゾーン毎の詳細結果が表示されます。詳細結果の Done で画像に戻ります。



<FIP 本体表示> : FIP 本体でも合否判定結果を確認できます。

緑点灯 : 合格(Pass)



赤点灯 : 不合格(Fail)



青点灯 : 待機中



3.3. MPO/MTP ファイバ測定(多芯)

MPO/MTP ファイバ測定用チップの構成一式および取り付け方法を以下に示します。

< 構成部品 >



< 取り付け手順 >

- ① 本体に MPO/MTP 用チップを接続



3.3.1. パソコン

(1) FIPとパソコンがWi-Fi接続完了後、FIP ControlsとConnectorを以下のように設定します。

Auto focus
Auto analysis

Type: Multiple Fiber Connector
Subtype: MPO/MTP®
Orientation: Key Up
Fiber config: 1x12 [12 ○]

Auto focus、Auto analysis の両方にチェックを入れる。

- Type: Multiple Fiber Connector
- Subtype: MPO/MTP
- Orientation: Key Up
- Fiber config: 測定するタイプを選択

(2) 測定を開始します。自動フォーカスと自動分析は初期状態で有効に設定してあるため、キャプチャ操作と測定端面の移動操作のみ手動で行います。3回に分けて全ての端面をキャプチャします。以下の手順で行います。

① MPO/MTP チップのレバーが左端の状態



② フォーカス確認後、キャプチャボタンを押す。(1回目)

フォーカス
緑：OK
赤/黄：NG

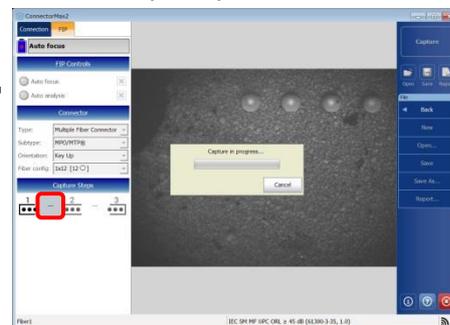
1回目

キャプチャボタン

④ キャプチャ完了後、1回引く



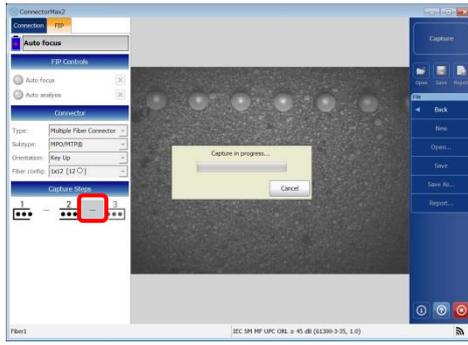
③ キャプチャ中(1回目)



⑤ フォーカス確認後、キャプチャボタンを押す。(2回目)



⑥ キャプチャ中(2回目)



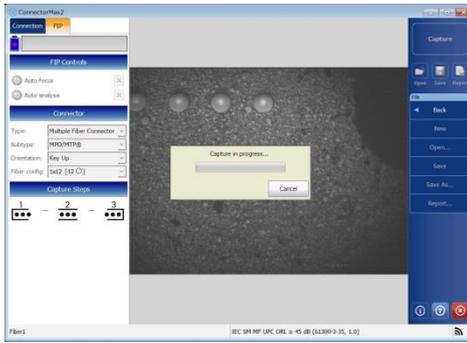
⑦ キャプチャ完了後、1回引く



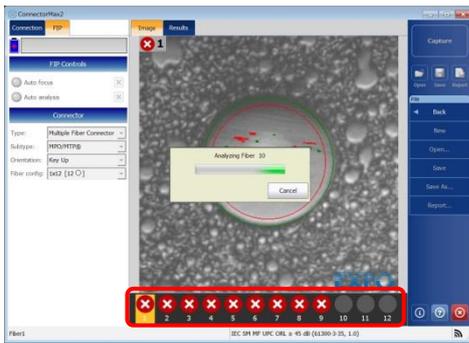
⑧ フォーカス確認後、キャプチャボタンを押す。(3回目)



⑨ キャプチャ中(3回目)



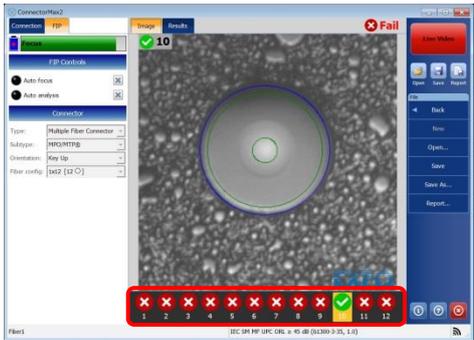
⑩ 各端面を自動分析中



⑩ キャプチャ端面を自動で個々に表示中



⑪ 全端面を分析完了



< 注意 >

全ての端面が正常に取得できていない場合は、分析を行う前にエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージが表示された場合は、①から再度実施してください。

< 合否判定結果 (Image) >

全体の合否判定結果 (Pass:合格, Fail:不合格)

選択した端面の画像

各端面の合否判定結果
選択すると画像が切り替わります。

< 合否判定結果 (Results) >

Zones	Criteria (μm)	Thresholds	Count	Criteria (μm)	Thresholds	Count
A: Core 0-25 μm	0 ≤ size < ∞	0	0	0 ≤ size < ∞	0	1
B: Cladding 25-115 μm	0 ≤ size < 3 3 ≤ size < ∞	Any 0	0 0	0 ≤ size < 2 2 ≤ size < 5 5 ≤ size < ∞	Any 5 0	1 9 11
C: Adhesive 115-130 μm	---	---	---	---	---	---

Test Configuration

Test Configuration	Connector	Cladding
IEC SM MF UPC ORL ≥ 45 dB (61300-3-35, 1.0)	MF	125 μm

選択した端面の詳細表示

合否判定基準値

端面選択

<FIP 本体表示> : FIP 本体でも合否判定結果を確認できます。

緑点灯 : 合格(Pass)



赤点灯 : 不合格(Fail)



青点灯 : 待機中



(3) 測定結果をレポートに出力することができます。また、測定データを保存することもできます。

レポート作成 (pdfかxml形式)

データ保存 (.cmax2形式)

< レポート >

ConnectorMax2 Analysis Report ✖ Fail

Instant View

General Information

File name:	Fiber1.cmax2	Inspection date:	2017/12/04 15:40:51
Analysis version:	1.9.3.0	Analysis date:	2017/12/04 15:40:52
Job ID:		Customer:	
Company:		Frame:	
Comments:			

Locations

	A	B	FIP Information	Value
Operator			Model	FIP-435B
Platform SN			Serial number	894616
			Firmware version	6.4.0.26

Identifiers

Cable ID	Fiber ID	Location A	Location B	Connector ID
	Fiber1			

Test Parameters

Configuration:	IEC SM MF UPC ORL ≥ 45 dB (61300-3-35, 1.0) (Standard)		
Connector type:	Multiple fiber	Cladding diameter:	125 μm
Fiber type:	Singlemode	Polishing type:	Ultra-polished physical contact
Number of fibers:	12	Analysis mode:	Outside plant

Results

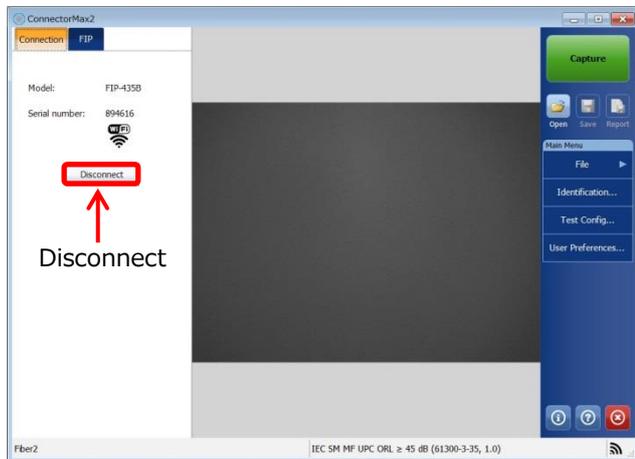
1. (Focus level: Good)

Zones	Criteria (μm)	Thresholds	Count
A: Core 0 - 25 μm	0 < size <=	Scratches	0
		Defects	0
	0 < size <=	Scratches	1
		Defects	0
B: Cladding 25 - 115 μm	0 < size <= 3	Scratches	0
	3 < size <=	Defects	0
	0 < size <= 2	Scratches	1
	2 < size <= 5	Defects	9
	5 < size <=	Scratches	0
		Defects	11

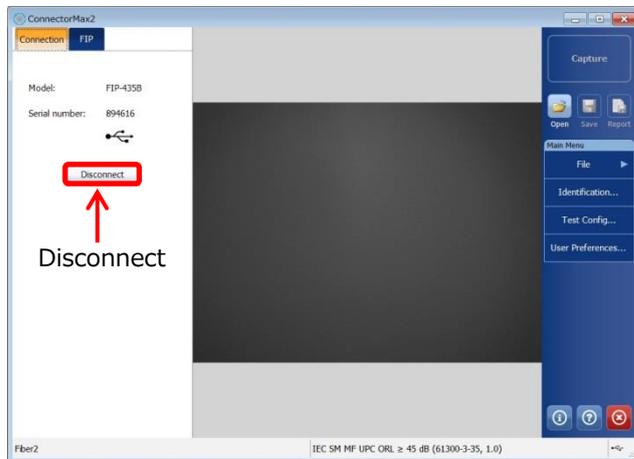
EXFO Signature: _____ Date: 2017/12/04 Page 1 of 4

- (4) FIPとパソコンのWi-Fi接続を解除するため、Connectionタブから『Disconnect』をクリックします。USB接続の場合も同様です。

< Wi-Fi 接続時 >



< USB 接続時 >

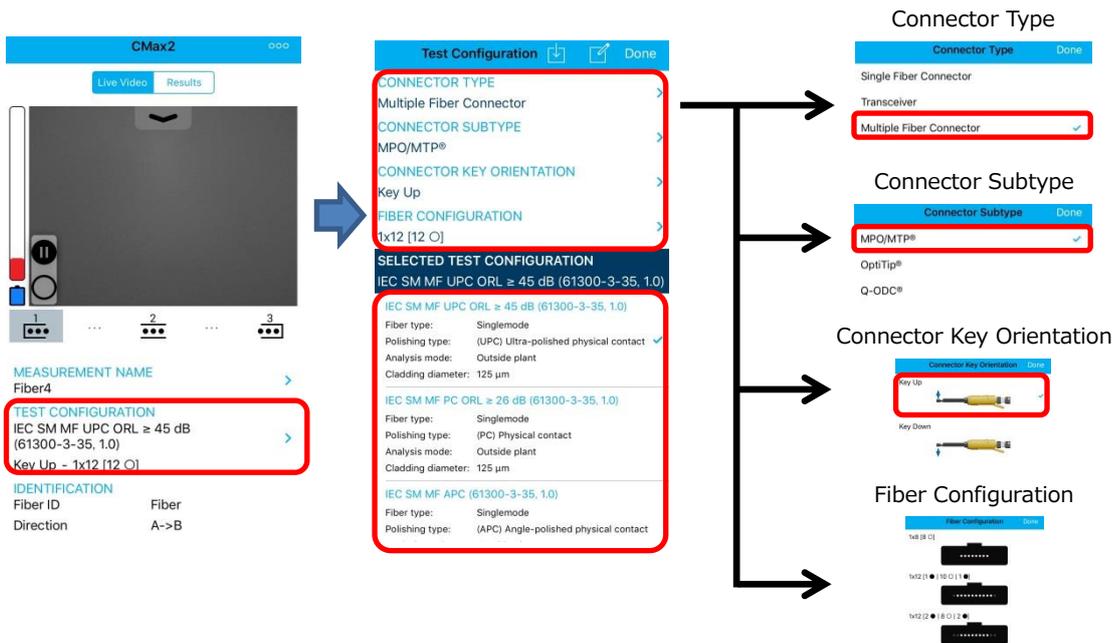


< 注意 >

Wi-Fi 接続の場合は、Disconnection をクリックしてもパソコンと FIP は Wi-Fi で接続中です。

3.3.2. スマートフォン&タブレット端末

- (1) FIPとスマートフォン&タブレットが Wi-Fi 接続完了後、TEST CONFIGURATION を以下のように設定します。
- CONNECTOR TYPE = Multiple Fiber Connector
 - CONNECTOR SUBTYPE = MPO/MTP
 - CONNECTOR KEY ORIENTATION = Key Up
 - FIBER CONFIGURATION = 測定するファイバを選択
 - SELECTED TEST CONFIGURATION = 合否判定基準を選択

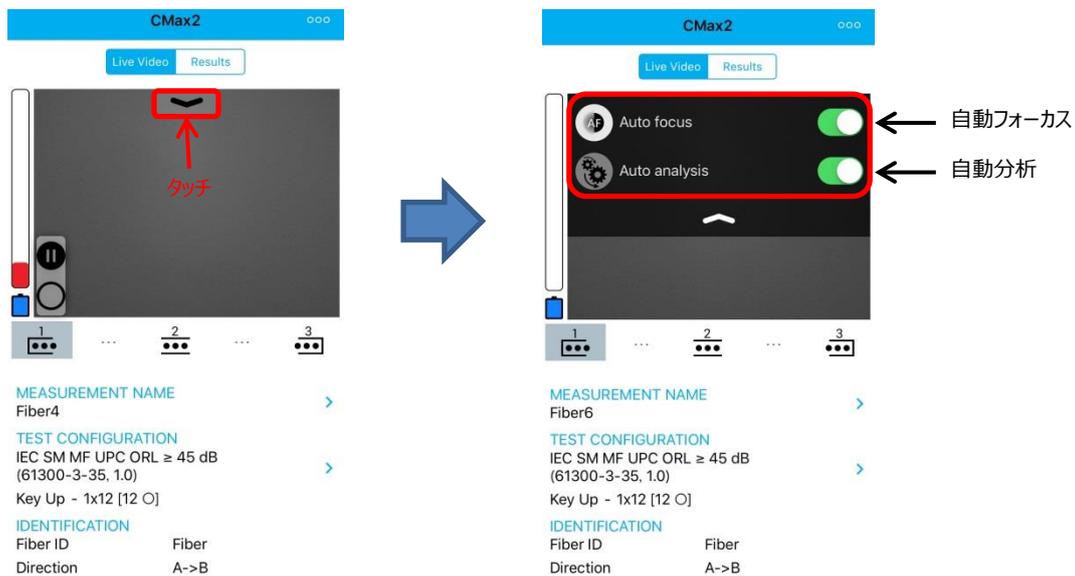


- (2) 測定画面が表示されていない場合は、『Start Live Video』をタッチします。



＜初期設定値＞

初期状態で自動フォーカスと自動分析は有効に設定してあります。



3 操作手順

(3) 測定を開始します。自動フォーカスと自動分析は初期状態で有効に設定してあるため、キャプチャ操作と測定端面の移動操作のみ手動で行います。3回に分けて全ての端面をキャプチャします。以下の手順で行います。

① MPO/MTP チップのレバーが左端の状態



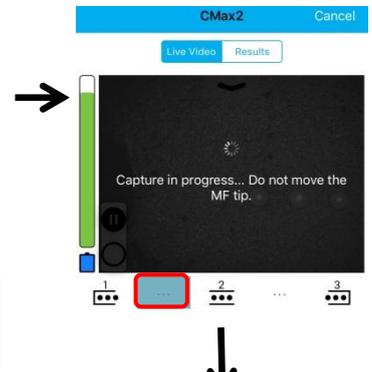
② フォーカス確認後、キャプチャボタンを押す。(1回目)



フォーカス
緑：OK
赤/黄：NG

キャプチャボタン

③ キャプチャ中(1回目)



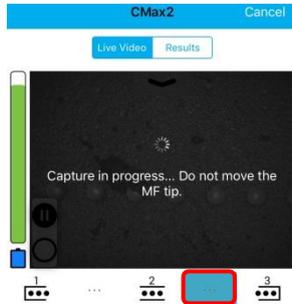
⑤ フォーカス確認後、キャプチャボタンを押す。(2回目)



④ キャプチャ完了後、1回引く



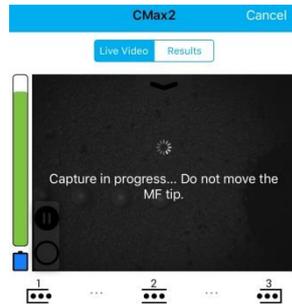
⑥ キャプチャ中(2回目)



⑦ キャプチャ完了後、1回引く



⑨ キャプチャ中(3回目)



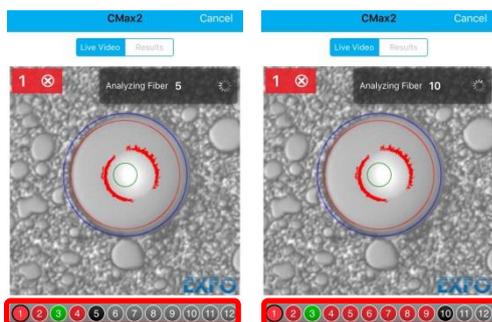
⑧ フォーカス確認後、キャプチャボタンを押す。(3回目)



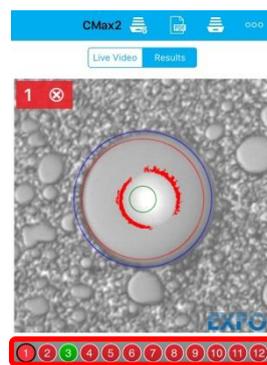
⑩ キャプチャした端面を自動で個々に表示中



⑪ 各端面を自動分析中



⑫ 全端面の分析完了



詳細結果表示

Inspection Results Done

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

Zones	Criteria (μm)	Thid	Cnt
Scratches			
A: Core 0-25 μm	0 ≤ size < ∞	0	0
	Defects		
B: Cladding 25-115 μm	0 ≤ size < 3	Any	0
	3 ≤ size < ∞	0	0
Defects			
C: Adhesive 115-130 μm	0 ≤ size < 2	Any	0
	2 ≤ size < 5	5	0
	5 ≤ size < ∞	0	2
Test Configuration			
IEC SM MF UPC ORL ≥ 45 dB (61300-3-35, 1.0)			
Fiber type: Singlemode			
Polishing type: (UPC) Ultra-polished physical con...			
Analysis mode: Outside plant			
Cladding diameter: 125 μm			

選択した端面の詳細表示

戻る

合否判定結果

CMax2 Live Video Results

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

INSPECTION RESULTS

Fail

MEASUREMENT NAME
Fiber4

TEST CONFIGURATION

選択した端面の画像

各端面の合否判定結果
選択すると画像が切り替わります。

全体の合否判定結果

詳細結果へ

<FIP 本体表示> : FIP 本体でも合否判定結果を確認できます。

緑点灯 : 合格(Pass)



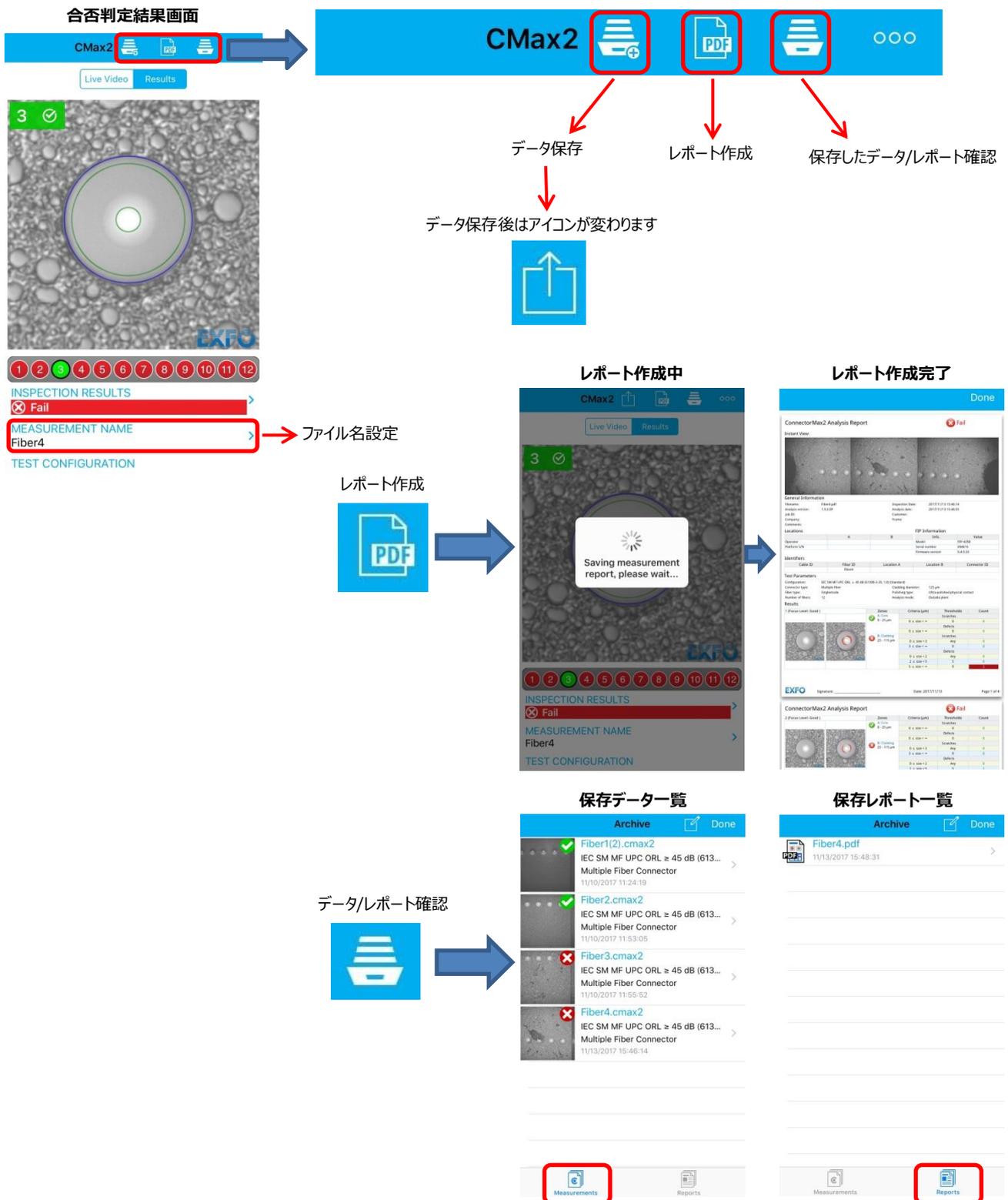
赤点灯 : 不合格(Fail)



青点灯 : 待機中



(4) 測定結果をレポートに出力することができます。また、測定データを保存することもできます。



(5) FIPとスマートフォン/タブレットのWi-Fi接続を解除します。

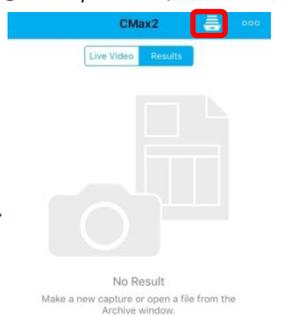
FIPの電源をOFFする。もしくは、スマートフォン/タブレットのWi-Fiを解除する。Wi-Fi解除後は、アプリケーションを閉じてしまって問題ありません。

(6) 保存したデータ/レポートは、Wi-Fi 未接続状態でも確認が可能です。また、保存したデータ/レポートは転送/削除が可能です。

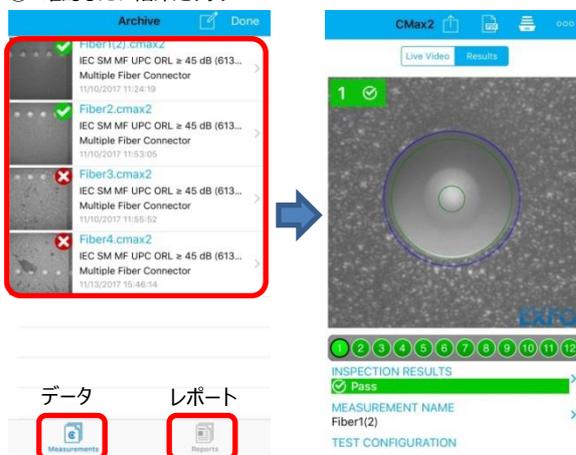
① Result をタッチ



② データ/レポート確認アイコンをタッチ



③ 確認したい結果をタッチ

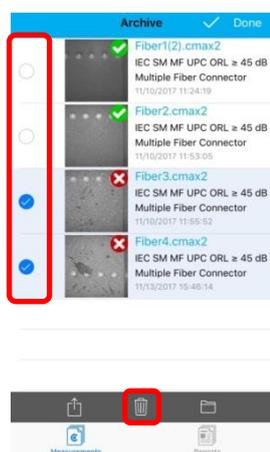


<データ/レポートの削除方法 1>

① 上部のアイコンをタッチ



② 削除するデータを選択して、ごみ箱をタッチ



<データ/レポートの削除方法 2>

① 削除したいデータを横にスライドして Delete をタッチ

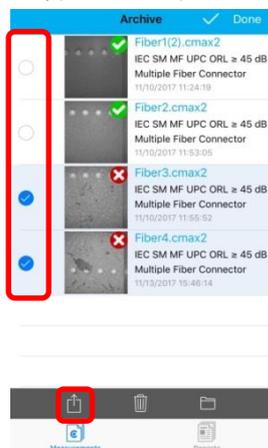


<データ/レポートの転送方法 1>

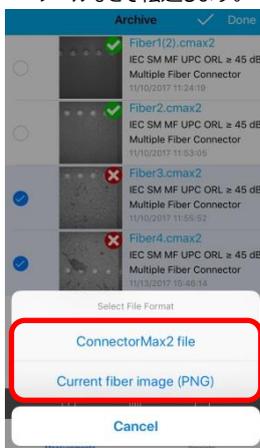
① 上部のアイコンをタッチ



② 転送するデータを選択して、転送アイコンをタッチ



③ データ形式を選択後、メールなどで転送します。



<データ/レポートの転送方法 2>

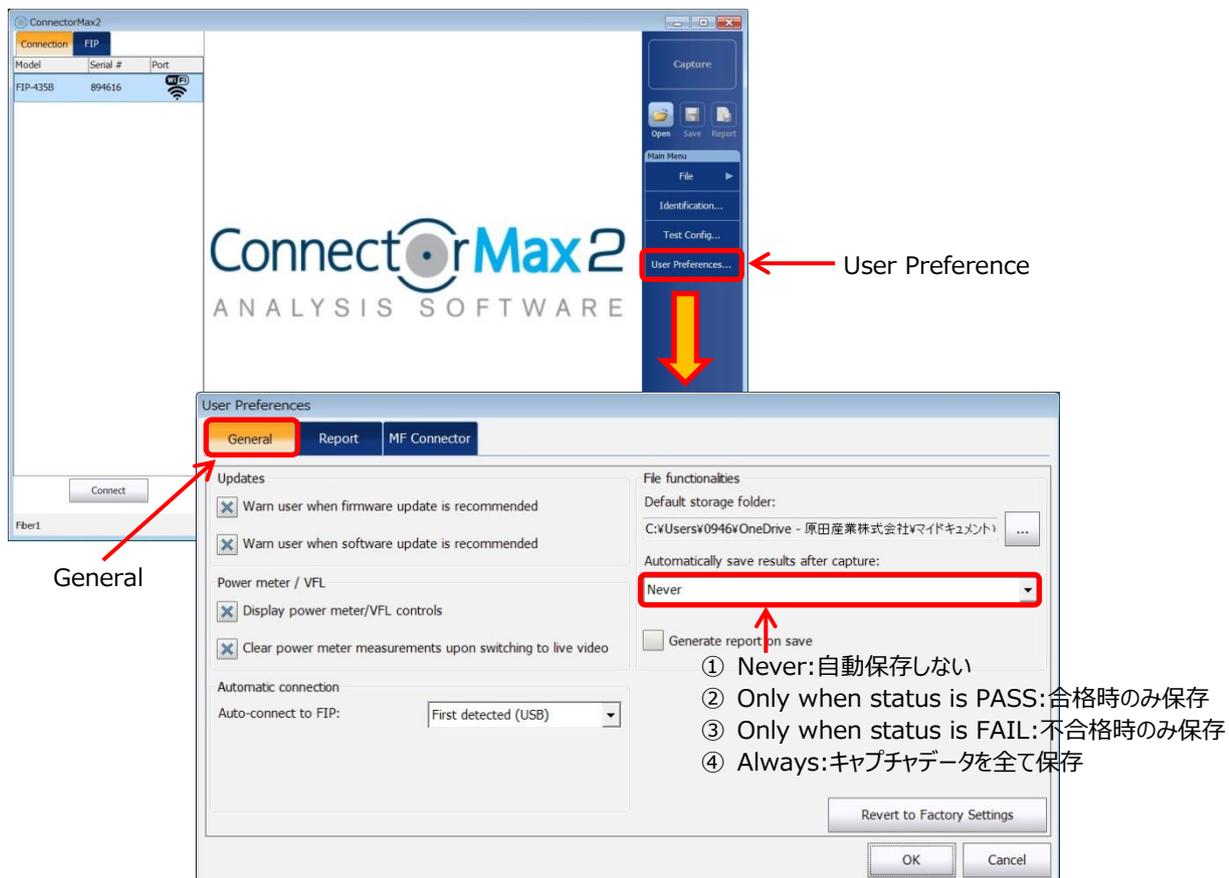
① 転送したいデータを横にスライドして Share をタッチ。あとは転送方法 1 と同様です。



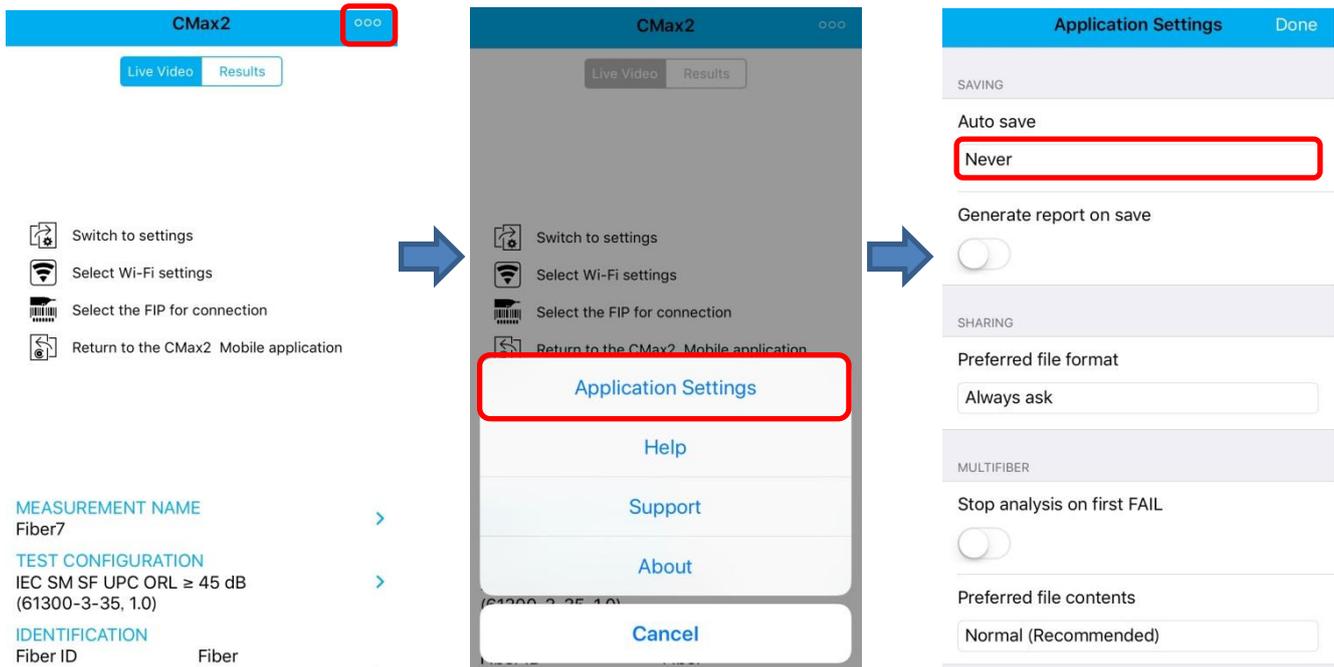
4. その他の機能

4.1. オートセーブ機能

4.1.1. パソコン



4.1.2. スマートフォン&タブレット端末



■ オートセーブ機能



- ① Always : キャプチャデータを全て保存
- ② If result is FAIL : 不合格時のみ保存
- ③ If result is PASS : 合格時のみ保存
- ④ Never : 自動保存しない

4.2. ファイル名の設定とレポート情報の設定

4.2.1. パソコン

Identification

ファイル名の設定

インクリメント設定

Identifier	Value	Increment	File Name
Location B		Not active	
Location A		Not active	
Fiber ID	Fiber	3	<input checked="" type="checkbox"/>
Direction	A->B		
Frame		Not active	
Connector ID		Not active	
Custom file name			<input checked="" type="checkbox"/>
Customer			
Company			
Job ID			
Operator A			
Cable ID		Not active	
Comments			
Operator B			
Platform S/N			
FIP model			
FIP S/N			

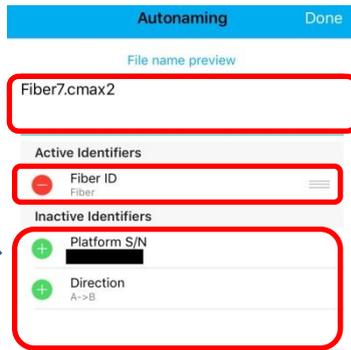
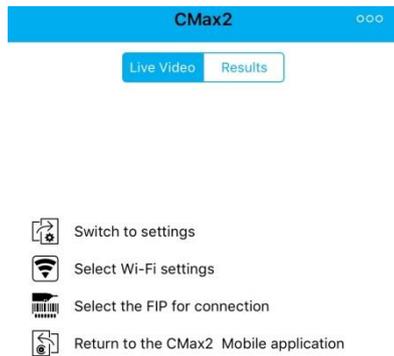
Identifier	Auto Increment	Start	Stop	Step
Location B	<input type="checkbox"/>	1	99	1
Location A	<input type="checkbox"/>	1	99	1
Fiber ID	<input checked="" type="checkbox"/>	1	99	1
Frame	<input type="checkbox"/>	1	99	1
Connector ID	<input type="checkbox"/>	1	99	1
Cable ID	<input type="checkbox"/>	1	99	1

User Preferences

Report

レポート表示選択

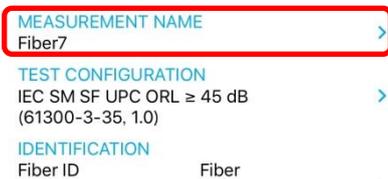
4.2.2. スマートフォン&タブレット端末



← 現在のファイル名

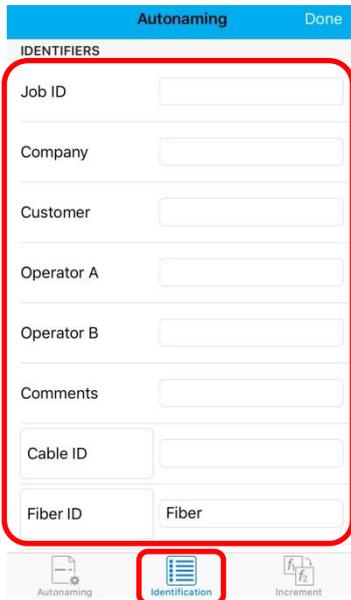
← 設定されたファイル名

← 設定するファイル名



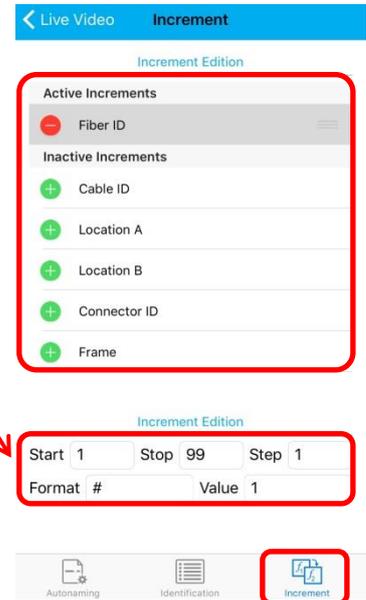
← カスタムファイル名

← セパレータ文字設定



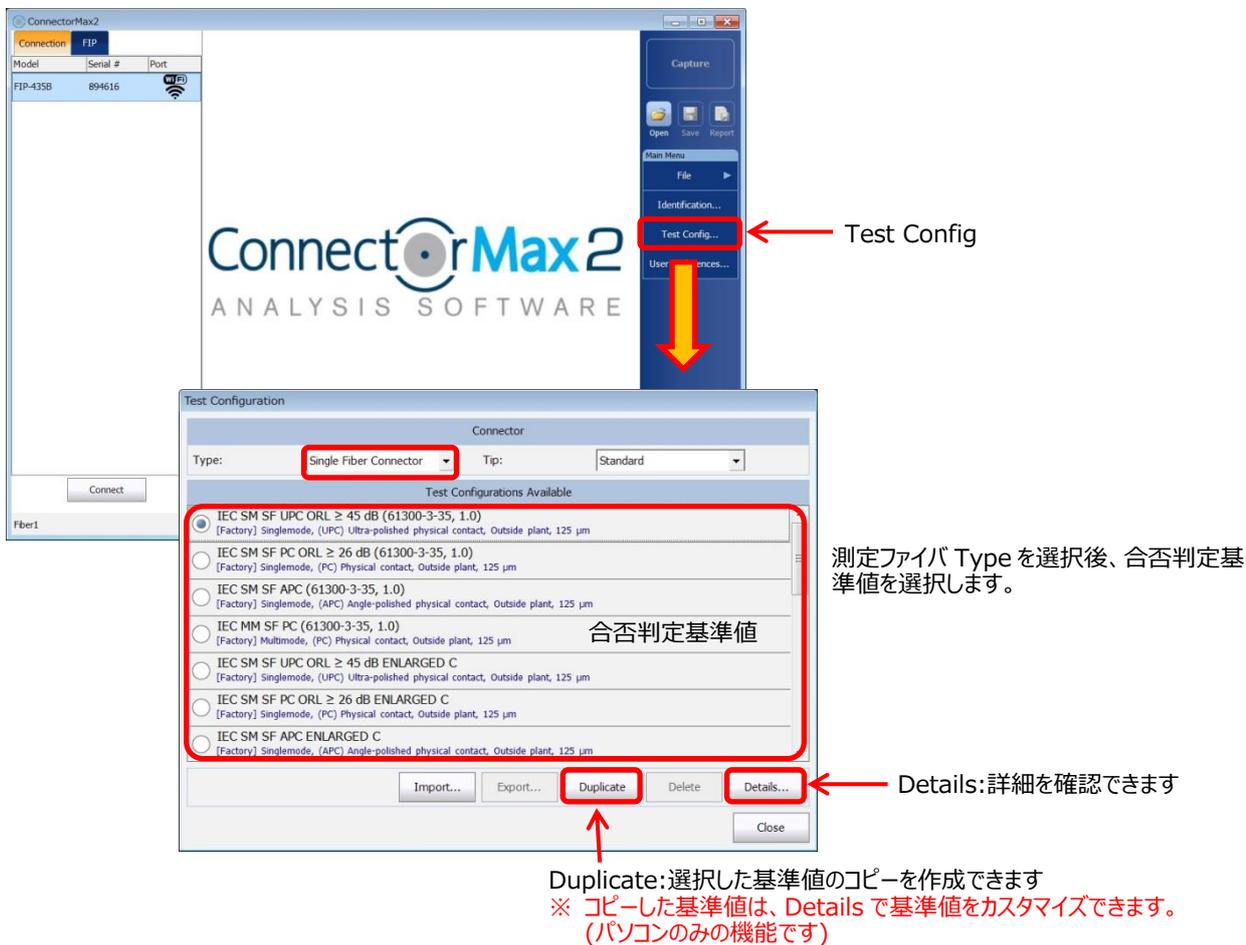
← レポートに記載される情報設定

インクリメント設定



4.3. 合否判定基準の選択/設定

4.3.1. パソコン



4.3.2. スマートフォン&タブレット端末

Live Video Test configuration Edit

Selected Test Configuration:
IEC SM SF UPC ORL \geq 45 dB (61300-3-35, 1.0)

← 現在の設定値

IEC SM SF UPC ORL \geq 45 dB
Fiber type: Singlemode
Polishing type: (UPC) Ultra-polished physi... ✓
Analysis mode: Outside plant
Cladding diameter: 125 μ m

IEC SM SF PC ORL \geq 26 dB (61300-3-35, 1.0)
Fiber type: Singlemode
Polishing type: (PC) Physical contact
Analysis mode: Outside plant
Cladding diameter: 125 μ m

← 合否判定基準を選択

IEC SM SF APC (61300-3-35, 1.0)
Fiber type: Singlemode
Polishing type: (APC) Angle-polished physical co...
Analysis mode: Outside plant
Cladding diameter: 125 μ m

IEC MM SF PC (61300-3-35, 1.0)
Fiber type: Multimode
Polishing type: (PC) Physical contact

MEASUREMENT NAME
Fiber1

TEST CONFIGURATION
IEC SM SF UPC ORL \geq 45 dB (61300-3-35, 1.0)

IDENTIFICATION
Fiber ID: Fiber1
Direction: A->B
Platform S/N: [REDACTED]
FIP Model: FIP-435B
FIP S/N: 894639

5. 仕様

No.	項目	仕様
1	大きさ(H×W×D)	55mm×39mm×207mm
2	質量	0.3kg
3	分解能	0.55μm
4	カメラセンサー	5メガピクセル CMOS
5	視覚検出能力	< 1 μm
6	表示フィールド	大 : 304μm×304μm 中 : 608μm×608μm 小 : 912μm×912μm
7	光源	ブルーLED
8	照明技術	同軸
9	デジタル倍率	3レベル
10	コネクタ	Micro USB
11	接続	Wi-Fi 802.11g
12	周波数バンド	2.4GHz
13	OSバージョン	Android: 4.2 以上、iOS: 8.1 以上
14	電源	バッテリー内蔵
15	使用時間	FIP-425B: ≥10 時間 FIP-435B: ≥8 時間
16	充電時間	≤4 時間
17	接続範囲	2.5m
動作環境		
18	温度 (操作時)	バッテリー使用時: -10℃~ 40℃ USB アダプタ接続時: 0℃ ~ 40℃
19	温度 (保管時)	バッテリーなし: -40℃ ~ 70℃ バッテリーあり: -20° ~ 60℃
20	湿度	プローブ本体: 0% ~ 95% (結露しないこと) USB アダプタ(保管): 0% ~ 95% (結露しないこと) USB アダプタ(操作): 8% ~ 90%

EXFO 【 製造元 】
EXFO Inc.



【 販売元 】
原田産業株式会社 AIF チーム
Tel : 03-3213-8391 / Fax : 03-3213-8399
URL : <http://infocom.haradacorp.co.jp>
E-Mail : sales-info@haradacorp.co.jp